



# 刈谷の ★輝く★人



刈谷にゆかりのある輝く人たちを紹介します！

## きっかけは大学生のとき

建築デザインを学んだ大学時代、模型にライティングし撮影した映像を課題発表した際、周囲の反応が良かったことやその映像制作が楽しかったことがきっかけとなり、映像制作の世界へ。2年の社会人経験後「これからの映画監督には語学力も必要」とイギリスに留学。その後、日本の映画祭でのグランプリ受賞をきっかけに商業監督デビューし、現在はCMやテレビ番組制作など幅広い分野で活躍しています。10月28日には初の全国公開となる長編映画「マリッジカウンセラー」が刈谷日劇で県内先行公開、1月13日からは全国ロードショーとなります。

## リアリティを求めて

作品は、昔ながらの結婚相談所を舞台に、仲間たちが会員のために奮闘する姿を、笑いと感動を交えて描いたハートフル・コメディ。ロケ地となったのは地元の愛知県。「前向きな協力に人の温かさや地元愛を感じることができてよかった。県内でも映像になっていない魅力的な場所がたくさんあると分かったので、これからも模索していきたい」と話しました。

作中でこだわったのはリアリティ。「人は走る姿で本心が分かる」と、登場人物の深層心理を追求したり、地元名産のお菓子や花を登場させたりするなど、細部にもこだわりを見せます。

## 映像で伝えたいこと

「自分というフィルターを通して感じたことを映像で伝えていきたい」と話す前田さん。「見た人が温かい気持ちになれるような優しい映画を撮る監督を目指したい。海外の経験を踏まえて、まだ目を見ていない魅力的な人や職業に光を当てられるような作品を作っていきたい」と今後の抱負を話します。前田さんの挑戦はまだまだ続きます。



映画監督  
まえだ なおき  
前田 直樹さん



## プロフィール

泉田町出身。雁が音中・刈谷北高卒業生。  
代表作は、「21世紀のおじさん」や「Needlewood Antiques」など。  
小津安二郎記念・蓼科高原映画祭グランプリなどの国内外の映画祭で、受賞や入選歴が多数。

## ★輝く★人の原動力

### 常に感じるインスピレーション

他人の映画や番組、企業のプロモーションを見て、知らなかったことや新しいことに触れた時、「そういう価値観か！」とすごく勉強になります。特に映画「スタンド・バイ・ミー」には強い感銘を受けました。

### 昔はここでよく映画を観ていた

豊やじゅうたんがあるスペースで、家族と寝転がりながら、よく映画を観ていました。すごく居心地が良かったです。

### 刈谷映劇

よしいけちよう  
昭和16年、葭池町（現在の広小路）に刈谷東宝として開館し、その後刈谷映劇として、平成12年まで営業。



写真提供：角谷一夫氏